

オーディオ実験室収載

アースアキュライザーの導入(6)(HP 収載) ー共通アースポイントとの接続(2)ー

1. 始めに

前報(5)に引き続き、アナログシステムの共通アースポイントの接続に使用してみます。

2. アースアキュライザーEA-1 の試聴計画

Garad401 でのアースラインの構成は共通アースポイントを経由しており、前報(5)で述べたとおりです。

今回は、フォノステージを受け持つプリアンプの **Leak Point 1** と共通アースポイントの接続に使用してみます。現在は、Western の単線の細線を使用していますので、アースアキュライザーに交換します。この場合、前報(5)の結果から、自作仮想アースに加えて **Crystal E** も常時 **Brooklyn DAC+** と共用で共通アースポイントに接続するようにしました。共通アースポイントに繋いだ **Crystal E** を **Brooklyn DAC+** と共用すると残留ノイズのレベルも下がりました。

音源は下記を使用します。

Deutsche Grammophon 483-6927/6928/6929

J.S.Bach Sonatas & Partitas

Nathan Milstein (Vn)

ドイツグラモフォン MG9551

ベートーヴェン 三つのピアノソナタ (選帝侯のソナタ)

ゲザ・アンダ (ピアノ)

LONDON KLJC-9180/9184 (RTI/キングレコード)

リヒャルト・ワーグナー ワルキューレ全曲

ゲオルグ・ショルティ指揮ウイーンフィル

EMI AA 9117・C

フリードリッヒ・ヘンデル メサイア

オットー・クレンペラー指揮フィルハーモニア

3. アースアキュライザーEA-1 の試聴結果

仮想アースは、自作仮想アースと **Crystal E** の両者を共通アースポイントに接続した上で、共通アースポイントと **Leak Point 1** のアース端子との間を Western の単線の細線に替えて、アースアキュライザーで接続した結果は次のとおりです。

バッハの **Sonatas & Partitas** は、エッジの効き過ぎが払しょくされ、緻密で艶のある音になってきています。

ベートーヴェンの選帝侯のソナタは、切れの良さと響きの豊かさがバランスしています。

ワーグナーのワルキューレは、オーケストラの分離が向上し、楽器の音の切れがよくなると同時に、ソプラノやメゾソプラノの歌唱の明晰さが向上します。

ヘンデルのメサイアは、合唱が力強く、通奏低音の量感と明晰さが向上し、弦とソプラノとバスの歌唱の質感が向上します。

上記のとおり、仮想アースの **Crystal E** が加わったことに加えて、**Leal Point 1** のアース端子と共通アースポイントの接続をアースアキュライザーにしたことの結果が加わり、前報(5)の当初に比べると最善の結果が得られました。特に、**Leal Point 1** の真空管フォノステージの個性のように感じていた、まったりした音調がニュートラルな印象に変わってきたことも特筆すべきことと思われまます。

前報(2)の **ZANDEN** のフォノイコライザーのアースの接続に大きな効果を認めたことから、フォノステージのアースの接続の重要性を認識しました。

4. まとめ

Leal Point 1 のアース端子と共通アースポイントの接続をアースアキュライザーにしたことの結果を認めました。

以上